

講義名	スポーツ組織論			授業形態	
担当教員	青山 将己	開講期・曜日・時間	後期 水曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

近年ではスポーツの多様化に伴い、スポーツを取り巻く組織にも変化と適応が求められている。スポーツ組織が効率的に変化し、適応していくには、多角的な視点を持ったマネジメントが必要である。本授業では、スポーツ組織の基礎的概念を学ぶとともに、多様化するスポーツ組織のマネジメント方法について理解することを目的とする。また、様々な事例をもとに、現場での問題点や解決策について議論する。

到達目標

本授業における到達目標は、以下のとおりである。
 1) スポーツ組織に関する基礎的な知識を習得できるようになる。
 2) スポーツ組織に関する現場での事例を理解し、問題点や解決策を見つけることができるようになる。
 3) スポーツ組織を効果的にマネジメントする方法を習得できるようになる。

提出課題

授業のかわりに、その日のポイント・動画の感想等のミニレポートをレスポにより、提出する。また、中間レポートと期末レポートを実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業において、前回の授業の振り返りを行う（Kahoot!を使用）。その際、提出されたレスポの内容に関する講評を行う。

評価の基準

各回のミニレポート（30%）、中間レポート（30%）、期末レポート（40%）。

履修にあたっての注意・助言他

遅刻者は、開始後15分以内とし、静かに着席すること。講義中の私語は厳禁で、使用を指示しない限り、スマホ使用を禁止とする。

教科書

.特になし.				
--------	--	--	--	--

参考図書

.スポーツの組織文化と産業.	横山勝彦ほか	晃洋書房	4771024006

その他

プリント資料は必要に応じて配布する。

授業計画

- オリエンテーション
- スポーツ組織とは
- スポーツ組織論の諸理論
- 日本のスポーツ組織構造（JSPQ、JSC、JOC、JPC等）
- 国外のスポーツ組織構造（IOC、IPC、IF等）
- 国内スポーツ普及組織・法人
- 国内スポーツ組織の公共性（総合型地域スポーツクラブ等）
- 組織マネジメント（組織マネジメントとは）
- 組織マネジメント（組織文化とは）
- ステークホルダー・マネジメント（ステークホルダー・マネジメントとは）
- ステークホルダー・マネジメント（組織運営）
- ステークホルダー・マネジメント（イベント運営）
- スポーツイベントにおける「組織委員会」
- スポーツ組織におけるリーダーシップ
- 振り返り、まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：2時間（自習のシラバスを確認し、参考文献、ネット等でその内容を事前に把握する。）
 復習：2時間（授業における配布資料に再度目を通り、学んだことの振り返りを行う。）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を通して、健康分野の組織論に関する基礎知識を身に付け、健康・スポーツ関連産業の理解を深めることができることから、本学科のディプロマポリシーの達成に大きく貢献できる科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

考える授業を導入し、授業中に質問し、解答したことを加点する。また、レスポの内容を吟味し、質問や疑問に対して、回答するようにする。

実務経験の有無及び活用

マスターズスポーツイベントの運営、イベントにおける質問紙調査の実施と分析など。

備考